

平成 21 年 10 月 29 日

各 位

会社名 双 日 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 加瀬 豊
 (コード番号 2768 東証第 1 部/大証第 1 部)
 問合せ先 広報部長 神子 浩二
 電話番号 03 - 5520 - 3404

業績予想の修正 及び 優先株式配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 4 月 30 日に公表いたしました業績予想および優先株式配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

(1) 修正の内容

平成 22 年 3 月期通期 連結業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,750,000	56,000	45,000	20,000	16.20
今回修正予想 (B)	4,020,000	35,000	22,000	27,000	21.74
増減額 (B - A)	△730,000	△21,000	△23,000	7,000	—
増減率 (%)	△15.4	△37.5	△51.1	35.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	5,166,182	52,006	33,636	19,001	15.39

平成 22 年 3 月期通期 個別業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,760,000	1,000	26,000	23,000	18.63
今回修正予想 (B)	2,520,000	△3,000	7,000	24,000	19.32
増減額 (B - A)	△240,000	△4,000	△19,000	1,000	—
増減率 (%)	△8.7	—	△73.1	4.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	3,217,313	△15,161	16,761	22,008	17.82

(2) 修正の理由

(通期の連結業績予想及び個別業績予想)

第2四半期の業績は、エネルギー・金属資源はじめ市況の回復などを受けて営業利益、経常利益が黒字となり、第1四半期の赤字決算から第2四半期累計期間で黒字に転じ、回復基調にあります。一方で、自動車事業はロシア・NIS地域における需要の大幅減少、ならびに中南米の事業会社での労務問題の影響を受け、当初の業績予想を大きく下回る見込みです。また、鉄鋼関連製品の市況回復の遅れも通期見通しに影響を及ぼしております。昨年のリーマンショックは実体経済に引き続き影響を与えており、全般的な景気回復の速度は期初予想よりはるかに遅いペースとなっています。こうした経済環境を踏まえて通期の見直しを行った結果、通期の売上高、営業利益、経常利益が当初の予想を下回る見込みとなりました。

なお、保有資産の入れ替えに伴う投資有価証券売却益を計上したことにより、当期純利益は当初の業績予想を上回る見込みであります。

2. 優先株式の配当予想の修正

(1) 修正の内容

第一回Ⅲ種優先株式

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成21年4月30日)	—	7.50	—	7.50	15.00
今回修正予想			—	0.00	7.50
当期実績	—	7.50			
前期実績 (平成21年3月期)	—	7.50	—	7.50	15.00

(2) 修正の理由

当社が平成15年5月14日に発行いたしました第一回Ⅲ種優先株式については、平成21年10月21日をもって残存していた同優先株式の普通株式への転換が全て完了したことから、期末配当予想を従来の7円50銭から予定無しに修正するものです。

なお、普通株式については、当初の配当予想から修正はありません。

※本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従い、実際の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上